



学校だより



四箇郷北小ホームページ <http://www.wakayama-wky.ed.jp/sikagokita/index.html>

“ゆめ”をもって

学校長 貴志 年秀

3月11日、未曾有の大災害が東日本を襲いました。

マグニチュード9.0を記録する地震とそれによっておこった大津波は東北・関東の太平洋側に多大なるダメージを与えました。

被災地ではたくさんの方々がその尊い命を奪われ、今も不自由な生活を強いられているみなさんが数多くいらっしゃいます。

被災地のみなさん、とりわけ子どもたちが、一日もはやく元気になり、笑顔で教室に戻って来られるように願いながら、私たちも「今、自分にできること」を考え、実践していきたいと思います。

四箇郷北小学校の校舎の玄関壁面に書かれている言葉“ゆめ”。

被災地のみなさんも“ゆめ”をもって、明日に向かって進んでください。素敵な明日は必ずやって来ます。

四箇郷北の子どもたちが、いや、日本中の子どもたちがあなた方を応援しています！

390人を26名のスタッフで

4月11日の入学式で67人の1年生が入学し、390人の子どもたちで平成23年度がスタートします。

この子どもたちを、私たち26人の教職員が力を合わせて支援していきたいと思います。

家庭・地域のみなさまに支えていただきながら、本校教育目標「心身ともに健康で、豊かな知性と人間性を備えたたくましい子ども」を育てたいと願っています。

どうぞ、よろしくお願いします。



こんな子どもたちに

私は四箇郷北小学校の子どもたちの次のような姿を望んでいます。

① 元気にあいさつのできる子に！

朝、友だちや先生、近所の人に出会ったら、自分から進んであいさつする子。

あいさつは、新しい友だちづくりの第一歩です。

私が子どもの頃、近所のおばちゃん同士、こんな会話をよくしていました。

「おはよ」「ええ天気やな」

「今日はどこ行きよ」「ちょっとそこまで」

「そらええわ」「ほんなら」

横で聞いていると、全く意味不明の会話ですが、おばちゃん同士の気持ちが通じあっている素敵な会話ですね。

② 「ありがとう」「ごめんなさい」が言える子に！

私たちは、家族や学級など、いろいろな集団の中で、いろいろな人たちと一緒に活動したり生活したりしています。その中で人に助けてもらう事、教えてもらう事がいっぱいあります。助けてもらって嬉しいなと感じたら「ありがとう」と口に出して言いましょう。きっと助けた人もいい気分になるはず。

反対に、そんなつもりはなくても、相手にいやな思いをさせたり、けがをさせたり、約束を破ったり、お父さん・お母さんに心配をかけたしたりした経験は誰にでもあると思います。当たり前のことですが、相手に悪いことをしてしまったな、迷惑や心配かけたなと思ったら、素直に「ごめんなさい」が言える勇気をもってください。

③ 人のことを思いやれる優しい子に！

いつも自分中心で、自己主張ばかりでは、人間関係はうまくつくれません。相手の立場や気持ちも考えて、上手に自分の思いを伝えることが出来るようになったら最高ですね。これは、大人でもなかなか難しいことですが…。

